

HOME > [ご入居宅訪問記](#) > 東京都 S 邸



気に入ったものだけを
パズルのようにプランニング。
オール電化の快適生活は、
9年目を迎えました。

東京都
S 邸

事例に学ぶ

- ▶ 入居宅訪問記
- ▶ 帰国にあわせた住まいづくり事例
- ▶ Hebel Haus Blog 入居者の一言日誌
- ▶ 入居宅見学会レポート
- ▶ 入居宅見学会に参加しよう!

お近くの展示場・イベント情報

都府県を選択して下さい

カタログ請求

ヘーベルハウスについての
詳しい資料はこちら

お住まいだった賃貸マンションに多くのご不満はなかったものの、この先家賃を払い続けるよりはと、33歳でマイホームを建築されたSさん。三角屋根のトッパットに憧れの卓球台を置き、たくさんの展示場やショールームをまわって気に入ったものだけをプランニングに反映。オール電化の3階住宅での暮らしは、9年目を迎えています。住み心地は快適そのもので、今年実施された都の家屋調査では、『家は1mmも傾いていません』とお墨付きも。「ヘーベルハウスにして本当によかった」と、喜ばれているSさんご夫妻です。



ご主人
42歳

奥さま
41歳

33歳の決断

つくりたかったのはこんな家

こだわりを家中に～S邸全貌

9年間快適に居住中

営業担当からひとこと

▲このページのTOPに戻る

HOME > [ご入居宅訪問記](#) > 東京都 S 邸

33歳の決断

新人営業マンの
熱い思いにほだされて、
ヘーベルハウスとの
長いおつきあいが始まりました。

この先家賃を払い続けても何も残らない…
33歳の若さでマイホーム建築を決意。

ヘーベルハウスを新築する友人の「旭化成まいは」という一言に誘われて、お正月休みにご夫妻でふらりと展示場へ。まだ33歳で家を建てるつもりはなかったものの、「この先数千万円家賃を払い続けても、将来何も自分のものにならないなんて…」と感じていたSさん。「八王子の展示場で鈴木さんにつかまっただんです(笑)」と、ヘーベル版への思いを熱く語る新人営業担当との出会いを楽しそうに語ってくれました。「この人は本当にヘーベルが好きなんだ。そんなこいものなんだな」と。経験不足への不安を、熱心で法規にも詳しい担当への期待と旭化成への信頼感が上回り、33歳の若さでマイホーム建築を決意されました。



事例に学ぶ

- ▶ [入居宅訪問記](#)
- ▶ [帰国にあわせた住まいづくり事例](#)
- ▶ [Hebel Haus Blog 入居者の一言日誌](#)
- ▶ [入居宅見学会レポート](#)
- ▶ [入居宅見学会に参加しよう!](#)

お近くの展示場・イベント情報

都府県を選択して下さい

カタログ請求

ヘーベルハウスについての詳しい資料はこちら

土地を探しながら15か所以上の展示場を巡り、山のようにカタログを集め…

土地探しで苦労されるご夫妻を旭化成もお手伝い。最終的に選ばれたのは、以前のお住まいから車で30分程かかる、JR駅に程近い土地でした。土地を探す一方、共働きのご夫妻は休日になると展示場へ。お友だちがヘーベルハウスを建てた名古屋も含め、なんと15か所以上もの住宅展示場に足を運ばれたそうです。「いろいろなモデルハウスのまいとこどりなんです」とSさん。メーカーのショールームもチェックし、「山のように集めました」というカタログも参考に本当に気に入ったものだけをプランに取り入れています。



建物の形を工夫して三角形の敷地をいかし、将来の道路舗装計画も見越して設計。

やや三角形の敷地のため、建物を雁行させて土地をいっばいに活用するプランを採用。予定されていた南面の道路計画を考慮して、大きな窓やベランダは東側に配置しました。「展示場やショールームで気に入った設計や設備を敷地の中でジグソーパズルのように組み合わせ、ここに入らないならあっちにもってこようって」とSさん。納得いくまでプランを検討した結果、旭化成とやりとりしたFAXは数十枚に。展示場巡りや家づくりの過程はデジタルカメラで撮影してアルバムに残し、「ヘーベルハウスストーリー」と名付けたホームページも公開中です。



TOPに戻る

33歳の決断

つくりたかったのはこんな家

こだわりを家の中に～S邸全貌

9年間快適に居住中

営業担当からひとこと

▲このページのTOPに戻る

HOME > ご入居宅訪問記 > 東京都 S邸

つくりたかったのは
こんな家

室内で卓球、
大型パントリー…
家づくりは
要望が多いほど楽しめます。

展示場で見えた三角屋根のトップハットに決まり！

敷地の大きさを配慮して、当初から3階建てにすることを考えたSさんご夫妻。埼玉の展示場で当時発売されたばかりのトップハットを頂くハイキュービックをごらんになって、最終的に決められたそうです。

最後まで迷った末、冷暖房効率を考えて、階段吹き抜けとトップハットは仕切る設計に。S邸の3階は真夏も冷房がよくきき、3階の熱気が階下に降りてくることありません。



事例に学ぶ

- ▶ 入居宅訪問記
- ▶ 帰国にあわせた住まいづくり事例
- ▶ Hebel Haus Blog 入居者の一言日誌
- ▶ 入居宅見学会レポート
- ▶ 入居宅見学会に参加しよう！

お近くの展示場・イベント情報

都府県を選択して下さい



トップハットには、やっぱり卓球台。

実家に卓球台があって、よくお母さまのお相手をされていたSさん。一方奥さまは、子どもの頃お知り合いの外国人宅を訪れ、リビングの暖炉や卓球台に圧倒された記憶が。

というわけで、S邸のトップハットにはご主人はあって当たり前の、奥さまは憧れの、公式戦にも使える卓球台が。新築当初はよくご夫妻で対戦されていたそうです。「仕切ったので球も階下へ転がりません(笑)」とお二人。

玄関、廊下、トイレは人感センサー付き照明。

S邸の玄関、廊下、トイレには、どこにも照明のスイッチが見当たりません。人を感知して明かりを点けたり消したりしてくれるセンサー付きになっています。廊下を通ると、自動的に照明が点灯しました。

「スイッチの消し忘れがなくていいんですが、よそのお宅にいったときつい点けっぱなしになってしまうんです」とSさん。トイレは換気扇もセンサーで回り、水栓もセンサー付きです。



9年前から、オール電化の住まい。

使い勝手のいいIH型のシステムキッチンには、雑誌でみつけ、ショールームに何度も足を運んで決められたもの。S邸では、9年も前から安全で汚れにくいIHクッキングヒーターを採用しています。

電気関係に詳しい友人の影響で、キッチンも電化した他、割安な深夜電力を利用した大型温水器を据え、オール電化住宅を実現しました。



重い物もOKの大型パントリー。

キッチンには、扉を斜めにとってスペースを有効活用した大型のパントリーを設置。L型に見える棚板は、実は1枚板をコーナーで重ねたもの。「大工さんが棚板に乗って作業していました」と奥さまがおっしゃる程強度があり、重いものも安心して乗せられます。食品のストックやペットボトル、食器、ラップ類、小物などがたっぷり収納できて、キッチンがすっきりと片付きます。



2階にも、洗面スペース&シャワールーム。

共働きのSさんご夫妻の働いたし、朝に活躍しているのが、2階の寝室そばに設けた洗面スペースとシャワールームです。わざわざ1階まで降りなくてもいいので、朝の身支度にとっても便利に使えます。「朝はたいていこっちを使います」とSさん。

寝室と隣り合うシャワールームは、ご夫妻が展示場でご覧になって気に入られたもののひとつで、当初からご要望になっていたものでした。



寝室の中に、大型ウォークインクローゼット。

寝室のそばにというよりも、寝室と一体化したという方がぴったりなのが、S邸の大型ウォークインクローゼット。設計当初はもっと大きかったそうです。衣類からバッグ、身の回りの品々まで季節を問わず集中して収納できて、フルタイムの仕事を持つ奥様はととても重宝されています。出勤前、最短の動線で着替えがスムーズにできます。

LAN配線で、情報化時代の一步先を。

コンピュータ関連のお仕事をされ、趣味のひとつもパソコンとおしゃるSさん。当時はまだ仕様になかった情報分電盤に相当するものを、リビングに置いたパソコンの後ろに設置。各部屋には情報コンセントも取り付け、LAN配線に対応。ISDN→ADSL→光と9年間でS邸の情報化は変化してきましたが、この導入口があるため敷設工事はとてもスムーズにできました。



HOME > ご入居宅訪問記 > 東京都 S邸

こだわりを家中に
～S邸全貌～

コンセント位置まで
熟慮した緻密な設計が、
日々の暮らしやすさを
支えています。

●写真をクリックすると拡大画像が見られます

1 留守でも荷物を受け取れる、
宅配ポスト。



2 展示場でみつけた三角出窓で、
玄関を明るく広く。



3 壁面は面取りして、玄関や廊下に
広がりをも。



7 お二人で並んで使える、
広く機能性にすぐれるキッチン。



4 洗濯機と洗濯流しは、
折れ戸で目隠し。



5 1階も2階も、階段下は
収納スペースに。



6 視線の通る広々としたLDKは、
二重サッシで静かなくつろぎの場に。



8 コンセントの位置は、
使う物、使う場所を考えて。



9 ロング窓の並ぶ階段吹き抜けは、
Sさんお気に入りの空間。



10 2階のトイレは、
三角出窓でアクセントを。



11 10cm単位で図面を検討し、
勾配空間をより高く。



12 石を敷いて、
バーベキューコーナーに。



屋上

TOPに戻る

33歳の決断

つくりたかったのは
こんな家

こだわりを家中に
～S邸全貌

9年間
快適に居住中

営業担当から
ひとこと

▲このページのTOPに戻る

HOME > ご入居宅訪問記 > 東京都 S邸

9年間快適に
居住中

何があっても倒れない。
その安心感でぐっすり眠れます。

都の家屋調査で、基礎の確かな設計が明らかに。
「ヘーベルハウスにしてよかった」とご夫妻。

ご実家が交通量の多い国道沿いにあるため、トラックが通ると揺れを感じ、地震にも不安を抱いていた奥さま。以前はちょっと揺れても夜中に起きていたそうです。ヘーベルハウスで暮らすようになって何よりうれしいのは、「地震があっても安心」ということ。

今年になって、近くで工事があるため都の家屋調査があったそうですが、その際、「家は1mmも傾いていません」との報告を受けて大喜びされたというご夫妻。しっかりとした基礎を設計しているからこそうれしい結果に、「ヘーベルハウスにして本当によかった」と心から思われたそうです。



◆ハイパー・フレーム構造

◆連続布基礎

住まいの不具合を通して、さらに深まった旭化成への信頼。

「何か問題が起きると、逃げちゃうところもあるとききました」とSさん。入居当初にありがちな住まいや設備の不具合、歳月を経たことで生じてくるちょっとした問題。そんないくつかのトラブルに責任を持って対応してもらえたことで、Sさんご夫妻の旭化成への信頼はむしろ深まったようです。

2002年には5年点検も実施。ご夫妻とも退職して時間ができたら、屋上を緑化することをお考えとのこと。この先、暮らしの変化に応じて、さらに住み心地が増していきそうなS邸です。



◆点検イメージ



SさんのHP「ヘーベルハウスストーリー」。

Sさんは、家づくりをスタートした1997年からホームページを開発。新築の経緯から、建築工程、お住まい、メンテナンスの様子などを記録しています。ホームページには相談のメールが届き、ときどき住まいを見学させて欲しいという依頼も。アクセス数は開設9年間で、とうとう10万件を突破しました。ご自身の経験をいかして丁寧にお答えされているSさんは、S邸のこだわりや工夫のかずかずが実際にどのような住まいづくりにかかれていることがうれしくてたまらないといった様子でした。



SさんのHPは、こちらからご覧いただけます。

TOPに戻る

33歳の決断

作りたかったのはこんな家

こだわりを家の中に～S邸全貌

9年間快適に居住中

営業担当からひとこと

※掲載のカタログは現在ご覧いただけないものもございます。

▲このページのTOPに戻る

HOME > [ご入居宅訪問記](#) > 東京都 S邸

営業担当から
ひとこと

水まわりや照明は
特注の最新設備で対応。
新人の私の熱意が報われた、
思い出深い一棟です。

.....
武蔵野支店 府中営業所店長 鈴木 鉄也

当時の最新設備など本当によくごらんになっていて、「これ
できませんか?」と具体的なご要望をいただきました。ご予
算の制約もあまりなく、水まわりや照明、電気情報系統の
配線など、特注で対応してできる限りご希望にお応えしま
した。また南面に予定されていた計画道路に配慮して、1m
程地盤を上げ、大きな窓やベランダを東に配したプランを
ご提案。2階の寝室にサニタリーや収納を連続させた、ご
夫妻の暮らしに合わせた個性的な間取りとなっています。



9年前からS様はコンピュータの専門家のような方で、新人だった私はまだその分野の知
識が乏しく、一生懸命設計担当との伝言役に徹しました。また、ほとんどFAXでの打ち合
わせでしたので、帰社すると毎日のように届いていて、最終的にすごい枚数になったはず
です。そうやって細かい部分まで打ち合わせすることができたおかげで、年数が経っても
ご満足してお住まいいただけるプランをご提案できたのだと思います。

その後S邸の工事担当がホームサービス課に転勤になり、この9年間の補修を専属でやっています。徹底的に直してきま
したので、それなりに評価をいただいていると自負しています。定期点検に同行し、毎年のお引き渡し日には何回かリ
ブスター訪問もしました。年賀状や手紙でもご連絡しているので、久しぶりにお会いしても当時のことを楽しく語り合えます
し、同行した新人部下の指導にも力を貸してくださいます。お客さまとそんな仲になれたことをとてもうれしく思っていま
す。

新人だった私も、入社してまる10年と2か月。これまでの契約数は120件を超え、おかげさまで営業担当時代はトップセー
ルスの仲間入りをさせていただくまでになりました。知識や経験は9年前とは比べものにならない程蓄積されましたが、い
い家をつくるための情熱と誠意、お客さまに対する姿勢は当時のままのつもりです。経験の浅い私を評価いただき、一
生懸命にやれば報われるんだと教えていただいた忘れられない一棟が、S邸です。

事例に学ぶ

- ▶ [入居宅訪問記](#)
- ▶ [帰国にあわせた住まいづくり
事例](#)
- ▶ [Hebel Haus Blog 入居者の
一言日誌](#)
- ▶ [入居宅見学会レポート](#)
- ▶ [入居宅見学会に参加しよ
う!](#)

お近くの展示場・イベント情報

都府県を選択して下さい

カタログ請求
ヘーベルハウスについての
詳しい資料はこちら

[TOPICに戻る](#)

[33歳の決断](#)

[つくりたかったのは
こんな家](#)

[こだわりを家中に
~S邸全貌](#)

[9年間
快適に居住中](#)

[営業担当から
ひとこと](#)

[▲このページのTOPICに戻る](#)